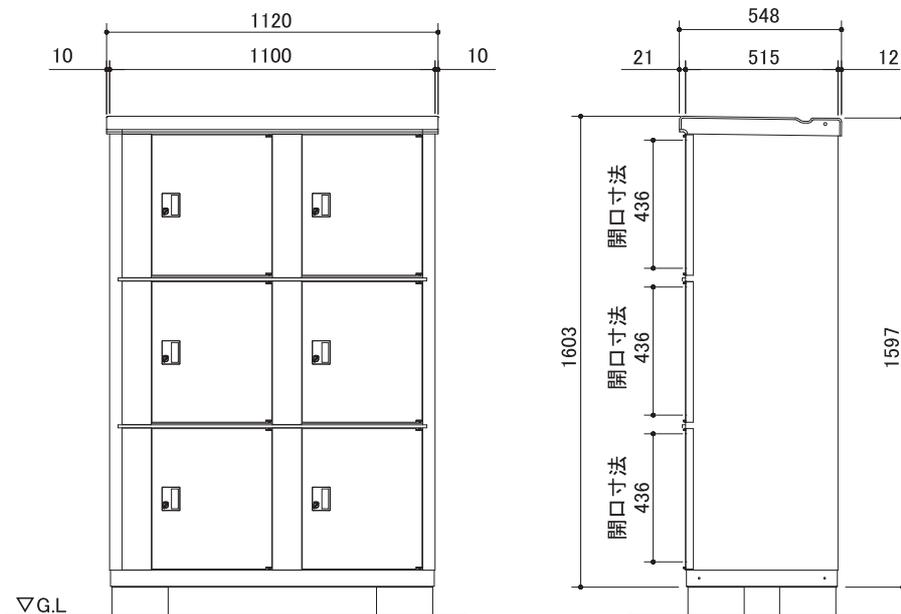


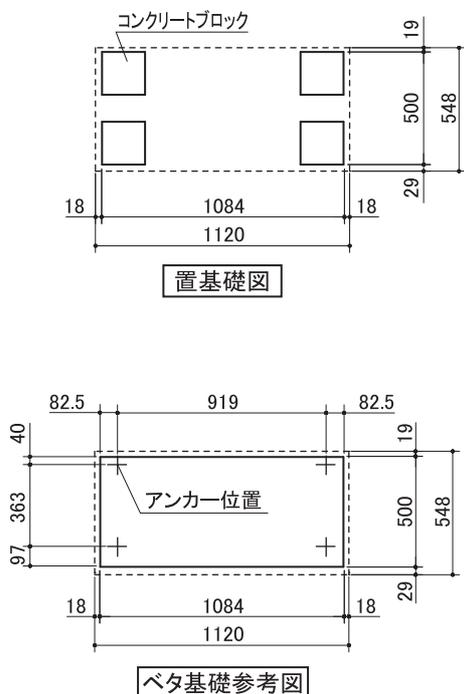
6枚扉タイプ LHS-1116-6 組立説明書

外形図 (単位:mm)



※アジャスターの調整範囲:0~32mm

基礎図 (単位:mm)



梱包別部品一覧表

部品は、上記梱包に分けられ以下の部品が入っております。部品の個数と内容を確認のうえ組み立ててください。※上記部品のほかに、コンクリートブロック4個(アンカープレート使用時は、セメント・砂・砂利)を準備してください。

LHS-1116-6

部	品	名	数
梱包番号 ZZ3484			
部	品	名	数
ハ	ー	ス	1
床	パ	ネ	ル
屋	根		1
部	品	箱	1
六	角	ボ	ルト
六	角	ボ	ルト(8mm)
ネ	ジ	板	21
バ	ッ	キ	ン付
バ	ッ	キ	ン付
ト	ラ	ス	ネジ(5×10)
ト	ラ	ス	ネジ(4×18)
ヒ	ン	ジ	ビス
ヒ	ン	ジ	ビス
コ	ー	ナ	ー
コ	ー	ナ	ー
ヒ	ン	ジ	セ
ヒ	ン	ジ	セ
ヒ	ン	ジ	止
ヒ	ン	ジ	止
鎖	取	付	金
鎖	取	付	金
ア	ン	カ	ー
ア	ン	カ	ー
ボ	ル	ト	キ
ボ	ル	ト	キ
目	隠	し	キ
目	隠	し	キ
土	台	鴨	居
土	台	鴨	居
ボ	ッ	ク	ス
ボ	ッ	ク	ス
フ	ラ	ス	ト
フ	ラ	ス	ト
水	準	器	1
水	準	器	1
組	立	説	明
組	立	説	明
梱包番号 ZZ3485			
部	品	名	数
側	板	右	D
側	板	右	D
側	板	左	D
側	板	左	D
支	柱	L	D
支	柱	L	D
梱包番号 ZZ3486			
部	品	名	数
壁	パ	ネ	ル
壁	パ	ネ	ル
梱包番号 ZZ3487			
部	品	名	数
側	板	右	D
側	板	右	D
側	板	左	D
側	板	左	D
支	柱	L	D
支	柱	L	D
梱包番号 ZZ3465			
部	品	名	数
壁	パ	ネ	ル
壁	パ	ネ	ル
梱包番号 ZZ3486			
部	品	名	数
壁	パ	ネ	ル
壁	パ	ネ	ル
梱包番号 ZZ3386 x2梱包			
部	品	名	数
中	鴨	居	1
中	鴨	居	1
幕	板		1
幕	板		1
梱包番号 ZZ3490			
部	品	名	数
仕	切	板	上
仕	切	板	上
仕	切	板	下
仕	切	板	下
梱包番号 ZZ3461			
部	品	名	数
脇	パ	ネ	ル
脇	パ	ネ	ル
中	パ	ネ	ル
中	パ	ネ	ル
梱包番号 ZZ3489			
部	品	名	数
脇	パ	ネ	ル
脇	パ	ネ	ル
中	パ	ネ	ル
中	パ	ネ	ル
梱包番号 ZZ3487 x3梱包			
部	品	名	数
扉	(D6用)		2
扉	(D6用)		2
ワン	タ	ッ	チ
ワン	タ	ッ	チ
マ	グ	ネ	ッ
マ	グ	ネ	ッ

安全のために必ずお守りください。

ここに記載してある事柄は、人や物に対して危害・損害を未然に防止し、製品をより安全かつ正しく組み立てて頂くためのものです。

マーク
の説明



注意

安全のために必ずお守りください。死亡・ケガの原因になります。



留意

これらの点にもご留意ください。ケガ・損害の原因になります。

収納庫の設置について

注意

1. 転倒防止工事を必ず行ってください。
⇒ 転倒防止工事がされていない場合、強風等により転倒し、傷害事故につながります。また、収納物に被害を与えます。
2. 崖の縁や屋上など、安全の確認できない場所への設置は避けてください。
⇒ 強風により転倒、落下の危険があります。

留意

1. 建物からの雪が直接屋根に落ちて来る場所への設置は避けてください。
⇒ 変形・破損により、雨もりの原因になったり収納物に被害を与えます。
2. 避難経路等の通路を妨げる場所には設置しないでください。
⇒ 非常時に避難通路として使えなくなります。
3. 家の屋根からまとまった雨水が直接屋根や壁に落ちないように配慮してください。
⇒ 雨もりの原因になります。

収納庫の組み立てについて

注意

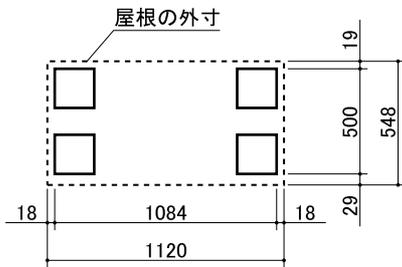
1. 風の強い日の組み立ては避けてください。
⇒ 強風のため部材が飛んでケガをしたり、部材の転倒による破損原因になります。
2. ユーザーの組み立てはなるべく2人以上で行ってください。
⇒ 一人で無理をされると、部材の転倒・落下によるケガの原因になります。
3. 30kg以上の梱包や部材の運搬は、2人以上で行ってください。
⇒ ケガをしたり腰を痛める原因になります。
4. 組み立て時は、ヘルメット・手袋・長袖シャツなどの保護具の着用をしてください。
⇒ ケガの原因になります。
5. 組み立て中は部材の転倒防止のために、つかい棒やロープなどをお使いください。
⇒ 組み付け時の部材の落下や突風による部材の転倒により、ケガをしたり部材の破損につながります。
6. 組み立て途中で放置しないでください。
⇒ 強風などにより部材が飛散・転倒してケガをしたり、部材の破損につながります。

組立順序のご説明

組み立てにあたって、部品の共通性・互換性を持たせるために、取り付け穴が余分にあけてあります。相手に穴のない所はボルト締めする必要はありません。各取り付け穴は、組み立てを容易にするために余裕を持たせてあります。片寄った締め方をすると、部品が入らなかったり穴が合わない場合がありますので、この場合はボルトをゆるめ調整してください。

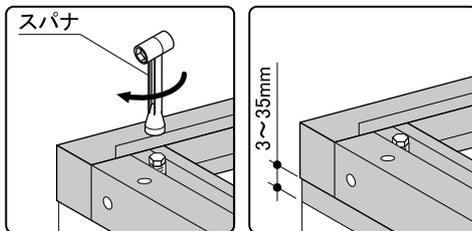
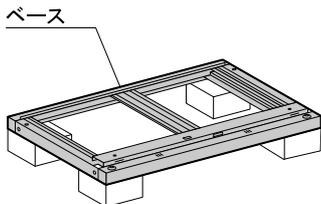
1. 基礎

地ならし・地固めを充分した後、下図のようにコンクリートブロックを水平に設置します。
 ※組立後、内部に品物を入れて水平がくると戸当たりが悪くなりますのでご注意ください。



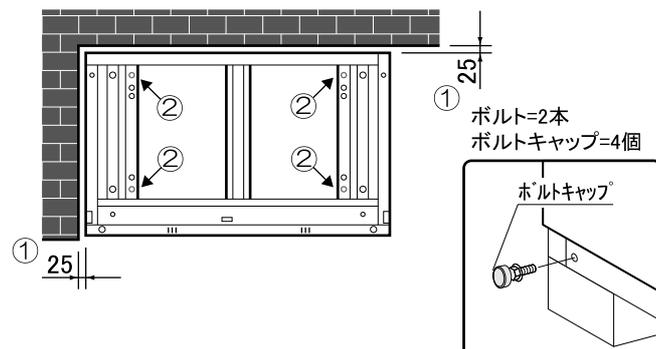
2. ベース設置

ベースを設置し、再度水平を確認します。くるっている場合は、四隅のアジャスターをスパナで微調整(調整範囲：32mm)してください。



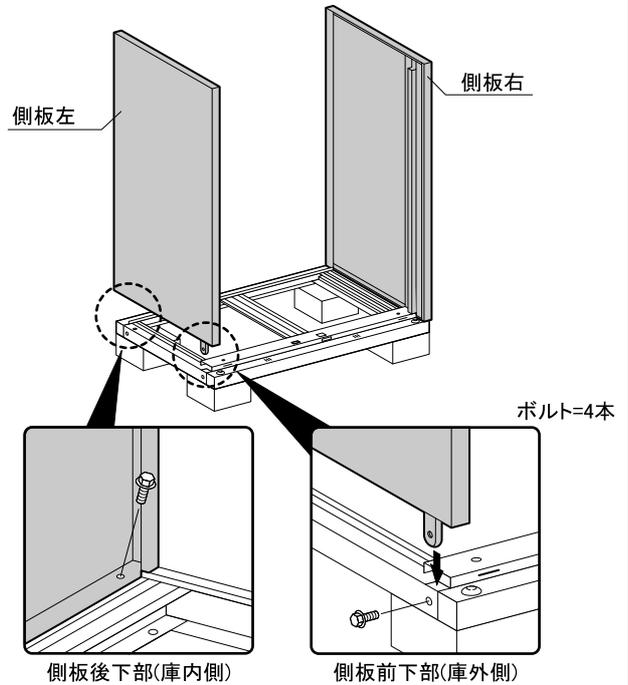
※内アンカー工事をする時

- ① 建物の壁や障害物から25mmのスキマをあけて設置します。
- ※下図のように側面に障害物がある場合は、「3.側板取付」の要領で予め側板を取り付け、ベース後部側面の穴にボルトを取り付けたあと、ボルトキャップを取り付けてください。
- ② 一番外側の四隅の穴にマークをし、M10アンカーボルト(市販品：4本必要)用の穴をあけます。
- ③ ベースをアンカーボルトで固定します。
- ④ 「2. ベース設置」の要領で水平を調整します。



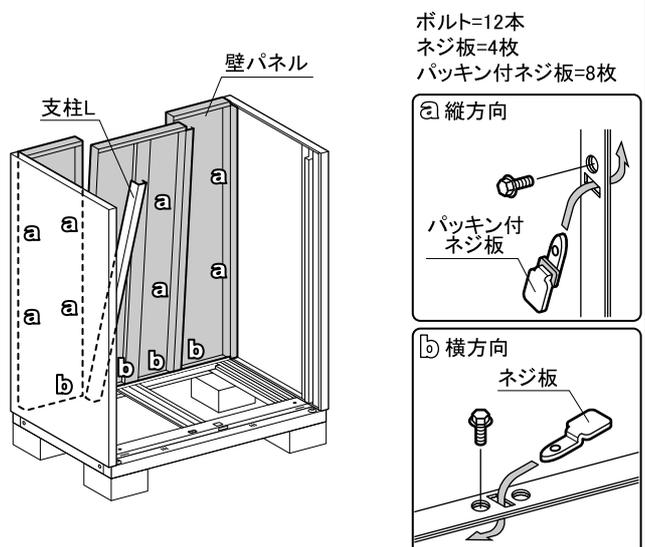
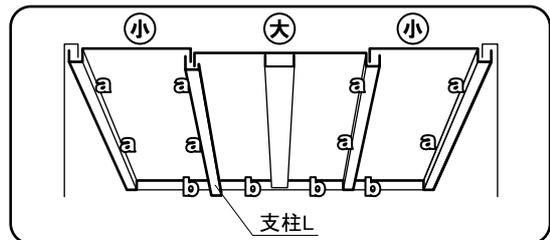
3. 側板取付

側板左右の足をベースの角穴に入れ、ボルトで固定します。次に側板後下部をボルトで固定します。



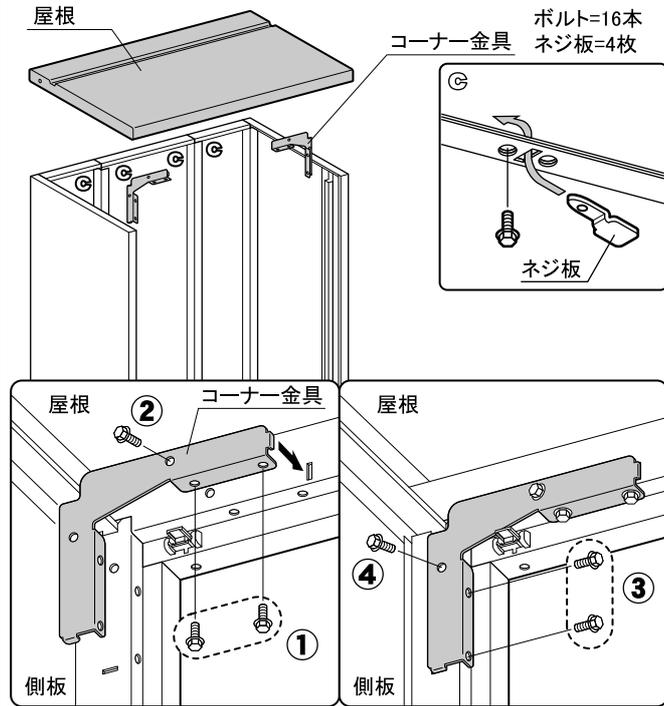
4. 壁パネル取付

壁パネルは、(a)縦方向をボルトとパッキン付ネジ板で、(b)横方向はボルトとネジ板で取り付けます。
 ※㊦壁パネル(W420)と㊦壁パネル(W310)の合わせ目は、支柱Lをかぶせて共締めします。



5. 屋根取付

屋根を乗せ、壁パネルと(ⓐ)ボルト・ネジ板で取り付けます。コーナー金具左右を屋根に①②の順で取り付け③④で左右の側板に仮締めし、その後本締めします。
※直角を出す為に、ネジ止めの順番を守ってください。



7. 鴨居受け金具の取付

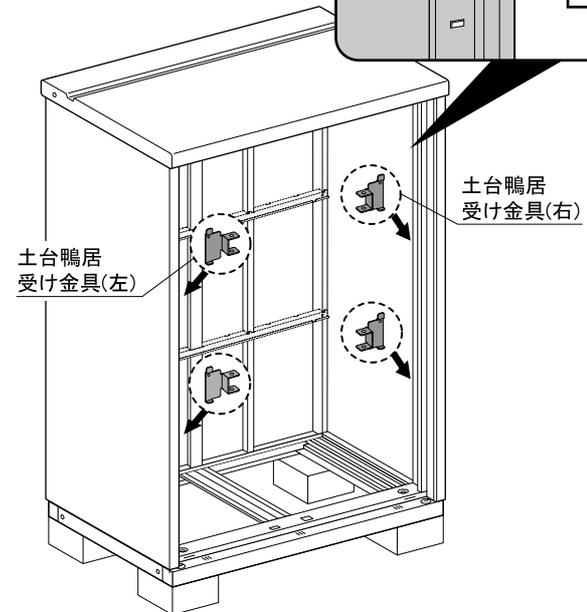
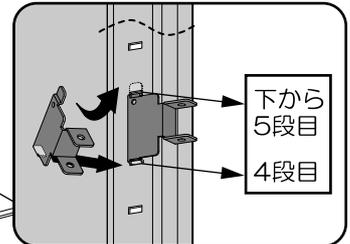
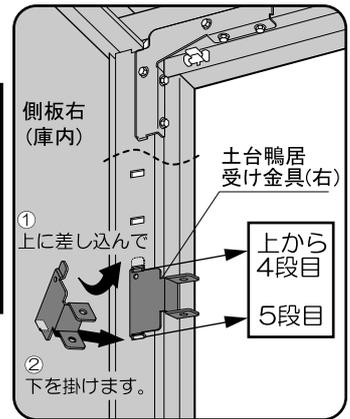
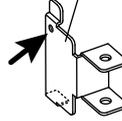
土台鴨居受け金具左右を、側板の角穴に左右2個ずつ取り付けます。取付の角穴の段は下図を参照してください。

※金具は左右で形状が異なります。

部材まちがい注意

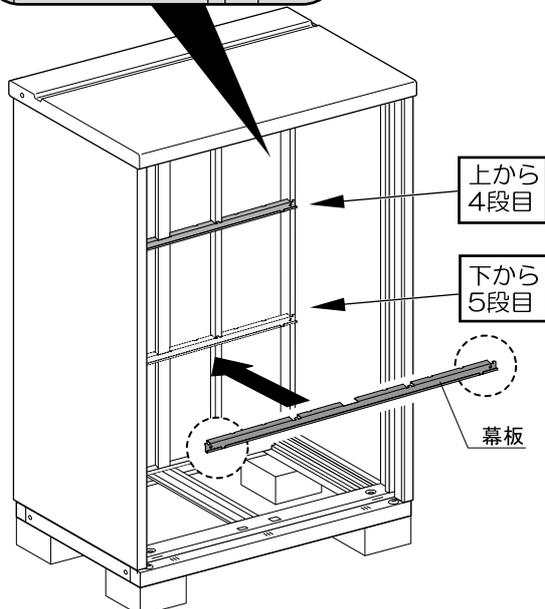
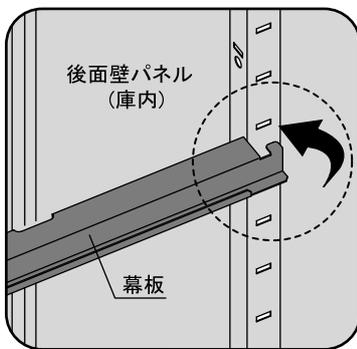
土台鴨居受け金具(右)

この穴があいている方を上にします。



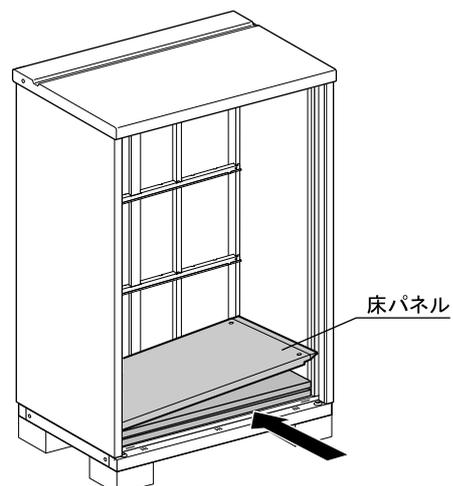
6. 幕板の取付

幕板を後面壁パネルの角穴にツメを引っ掛けて取り付けます。取付の角穴の段は下図を参照してください。



8. 床パネルの前準備

床パネルを3枚すべて入れ、最下段へ重ねておきます。

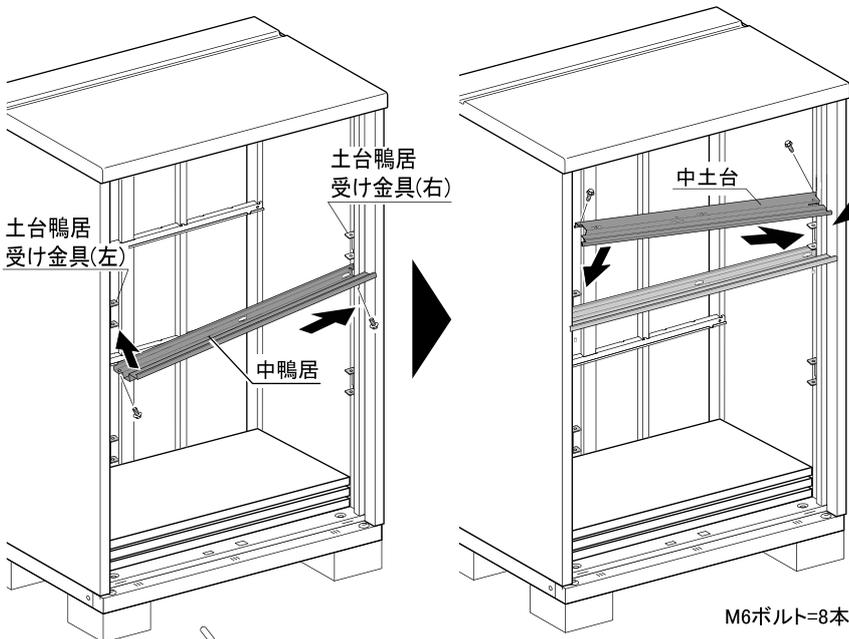
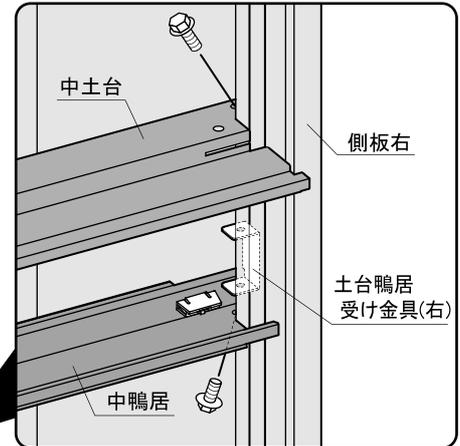
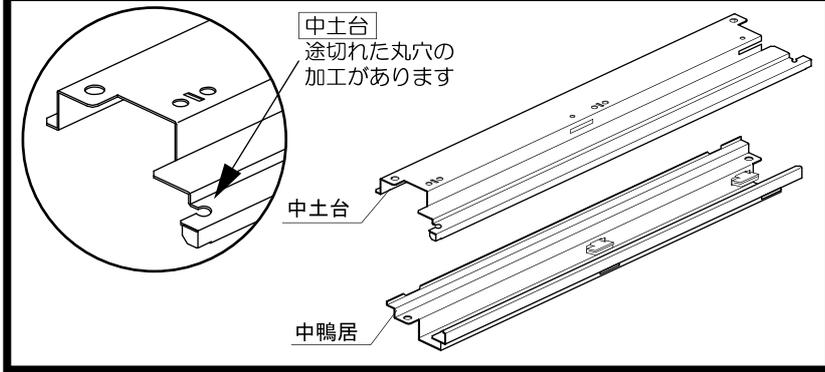


9. 中鴨居、中土台の取付

※ここでのM6ボルトは仮どめしてください。

中鴨居を土台鴨居受け金具の下からM6ボルトで仮どめします。
次に中土台を土台鴨居受け金具の上からM6ボルトで仮どめします。
2段目も同様に中鴨居、中土台を土台鴨居受け金具と取り付けます。

部材まちがい注意

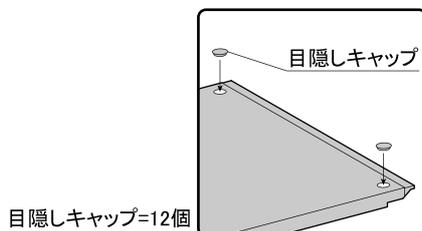
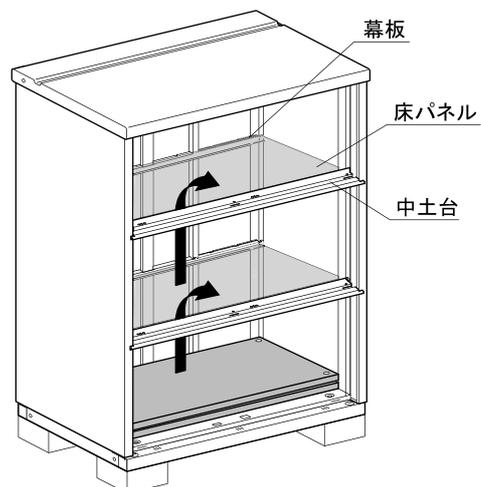


中鴨居・中土台は、側板の凸部に差し込むように斜めに入れてください。

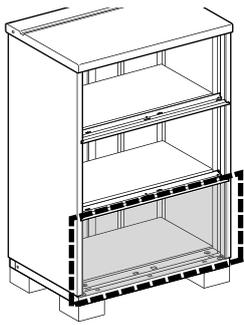
※中鴨居・中土台のボルトは仮どめし、「16.扉の取付」の後に本締めします。

10. 床パネルの取付

「8.床パネルの前準備」で入れた床パネルを、庫内で持ち上げ、上の段から順に、中土台と幕板へのせます。床パネルの四隅の穴に目隠しキャップをはめ込みます。



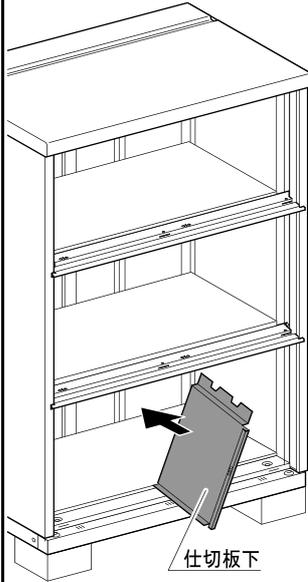
～下段の組立～



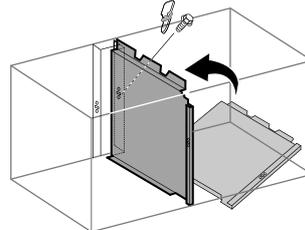
「11.仕切板の取付」から**「16.扉の取付」**まで下段の組立を行います。
部材のまちがいに注意してください。

11.仕切板の取付

仕切板下を下段に入れ、右側から後面の壁パネルにパッキン付ネジ板とボルトで取り付けます。



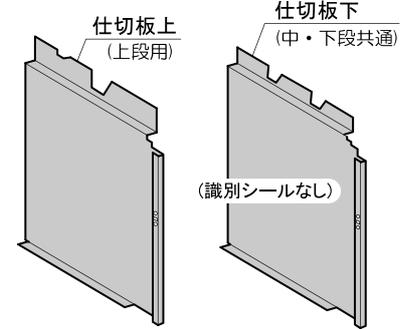
仕切板は斜めに入れて、庫内で起こします。



※仕切板は上段のみ形状が異なります。

部材まちがい注意

仕切板上には識別シールを貼っています。

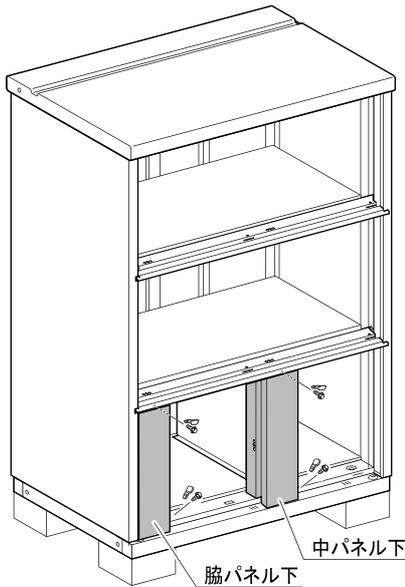


【1段あたり】
M6ボルト=1本
パッキン付ネジ板=1枚

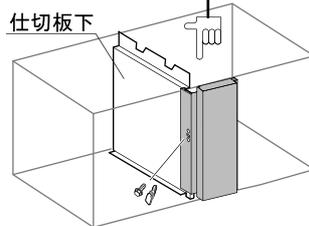
12.脇パネル、中パネルの取付

脇パネル下は側板左の凸部に嵌め、図の様に上下をネジ板とボルトでとめます。

中パネル下は左側から仕切板に重ねてパッキン付ネジ板とボルトでとめ、上下をネジ板とボルトでとめます。



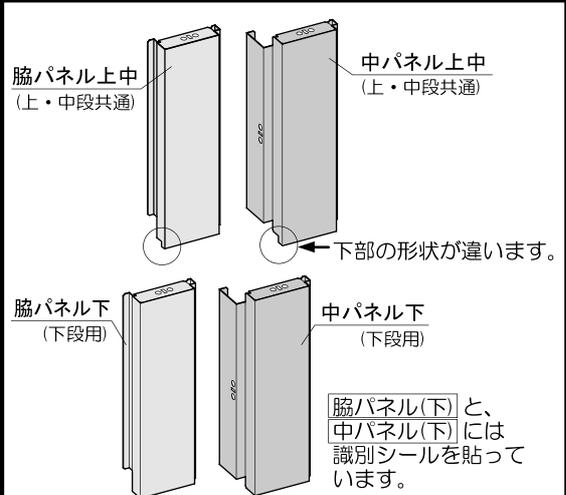
縦方向は、パッキン付ネジ板で仕切板と共締めします。



※中パネル、脇パネルは形状が異なります。

※それぞれの下段用は形状が異なります。

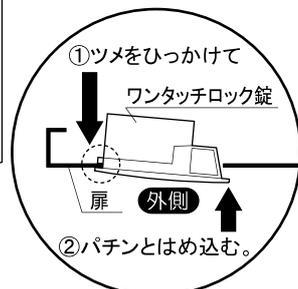
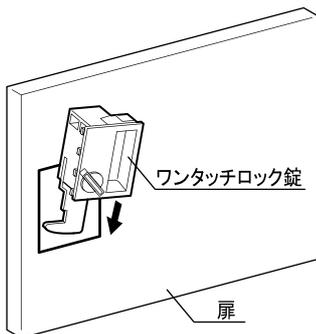
部材まちがい注意



【1段あたり】
M6ボルト=5本、ネジ板=4枚、パッキン付ネジ板=1枚

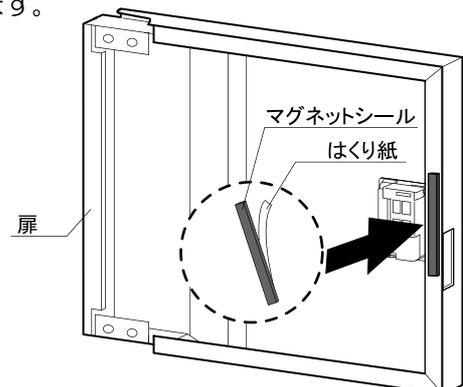
13.ワンタッチロック錠の取付

扉にワンタッチロック錠を取り付けます。



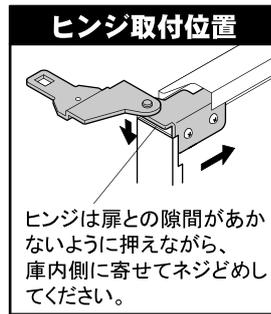
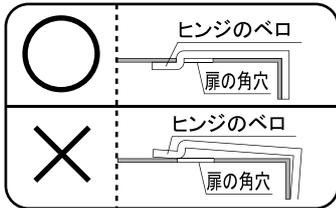
14. マグネットシールの貼付

マグネットシールを扉の庫内面(下図の位置)に貼り付けます。

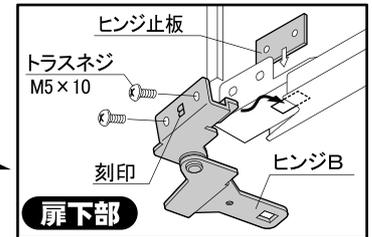
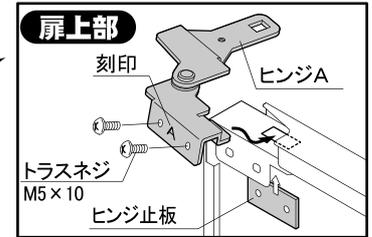


15. ヒンジの取付

扉左右の角穴に、ヒンジのペロを差し込みヒンジ止板を裏から当て、トラスネジ(M5×10)で取り付けます。

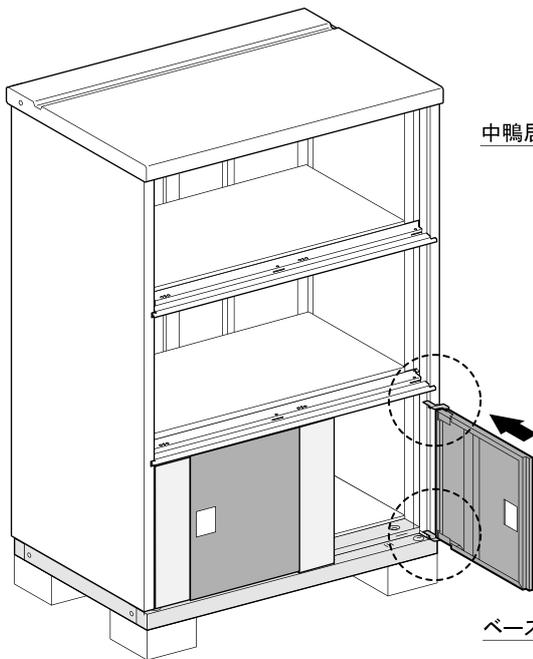


【扉1枚あたり】
トラスネジ(M5×10)=4本



16. 扉の取付

下図のように、扉の上のヒンジを角穴へ差し込んでから、下のヒンジを角穴へ差し込みます。次にヒンジビスガイドをヒンジに入れ、トラスタッピンネジ(M4×18)で固定します。



上段で使用

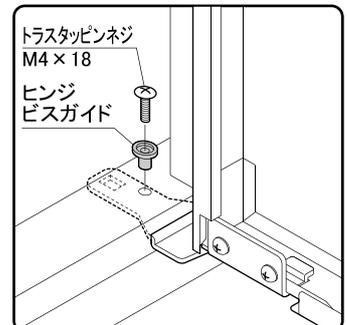
屋根の角穴
中土台の角穴

中鴨居の角穴

ベースの角穴

⚠ 注意

ヒンジは、角穴に対して直角に「カチッ」と鳴るまで確実に差し込んでください。

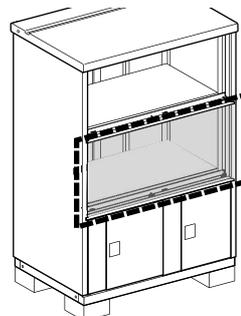


【扉1枚あたり】
トラスタッピンネジ(M4×18)=2本
ヒンジビスガイド=2個

◆各段の組立◆

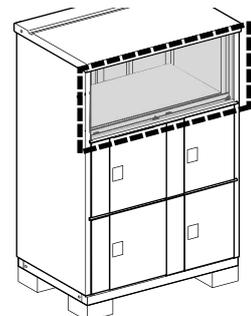
下段の扉の取付までが完了したら、「11.仕切板の取付」から「16.扉の取付」の手順を中段、上段の順に同様に行ってください。

～中段の組立～



「11.仕切板の取付」
～「16.扉の取付」

～上段の組立～



「11.仕切板の取付」
～「16.扉の取付」

◆中鴨居、中土台の本締め◆

すべての扉の取付が完了したら、「9.中鴨居、中土台の取付」で仮どめしたM6ボルトを本締めしてください。

17. 転倒防止工事

転倒防止工事は必ず行ってください。

転倒防止工事には、アンカー工事とワイヤー工事の2種類があります。

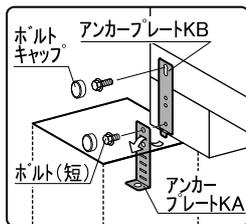
必ずアンカー工事を行い、強風を受ける場所等に設置する場合は、ワイヤー工事も併用してください。



注意 転倒防止工事がされていない場合、強風等により転倒し、傷害事故につながります。また、収納物に被害を与えます。

アンカー工事

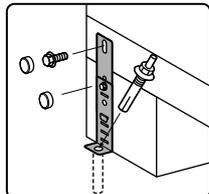
地盤が土の場合は、ベースの四隅に25cm角の穴を掘り、アンカープレートを取り付け、コンクリートを打ち込みます。



※1ヶ所にセメント5kg、砂9/砂利12/以上が必要です。

地盤がコンクリートの場合は、アンカープレートを取り付け、M10オールアンカー(市販品)で固定します。

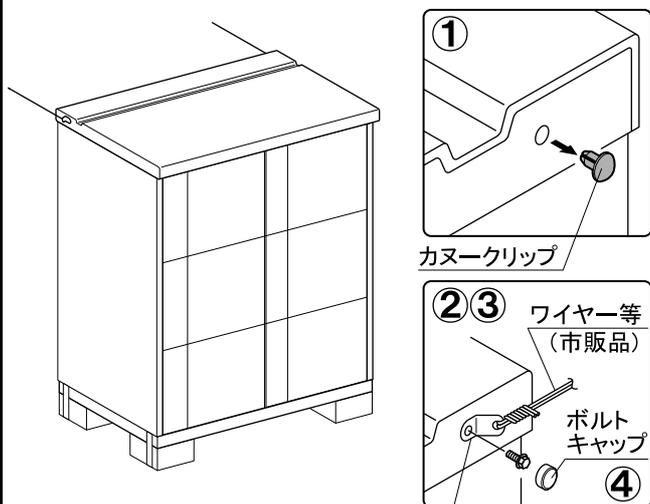
基礎高100~160mmまで調節可能
(※KA、KBの組替えで長さを調節してください。)



ボルト(短)=4本 ボルト=2本 ボルトキャップ=8個

ワイヤー工事

- ①屋根側面後部のカヌークリップをはずします。
- ②鎖取付金具を屋根にボルトで取り付けます。
- ③ワイヤーなどを使用し、建物の壁や柱等に固定してください。
- ④外に出ているボルトにボルトキャップを取り付けます。

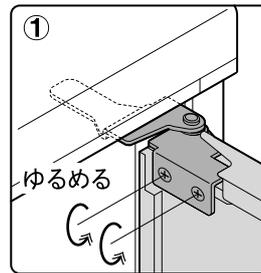


ボルト=2本 ボルトキャップ=2個

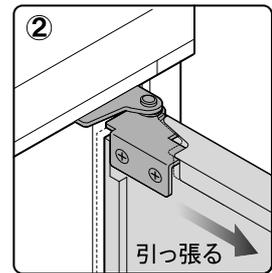
◆扉の戸当たり調整◆

扉を閉めた時にスキマが出来た場合は、ヒンジを調整してください。

※図は扉上部のヒンジを例に説明しています。



①ヒンジを固定した扉のネジをゆるめる。

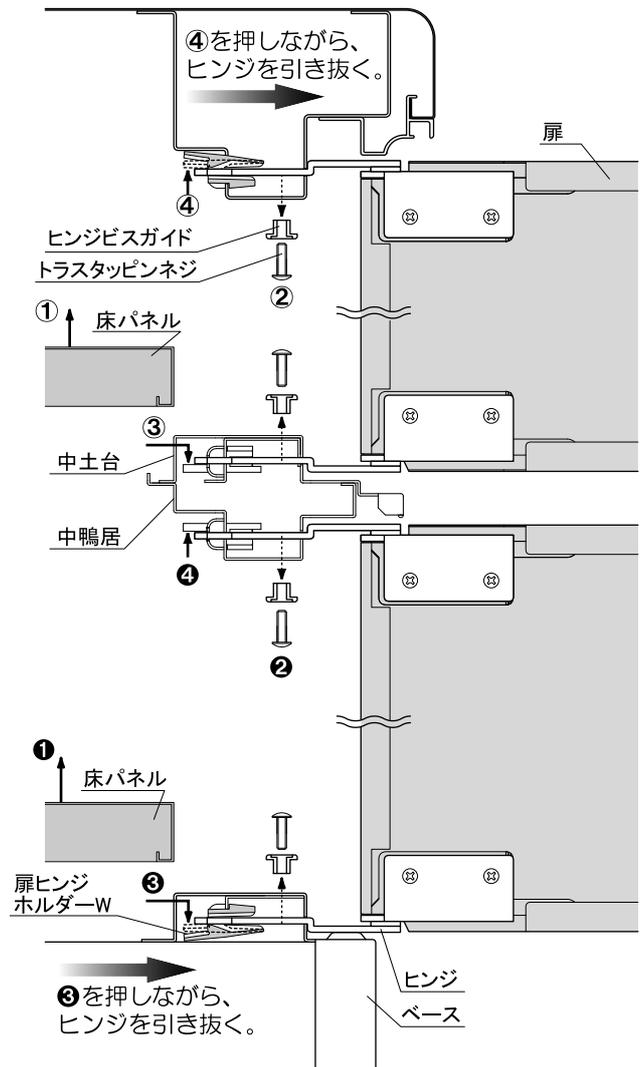


②扉を少しだけ引っ張り、調整する。

③ゆるめたネジを締め付ける。

◆扉のはずし方◆

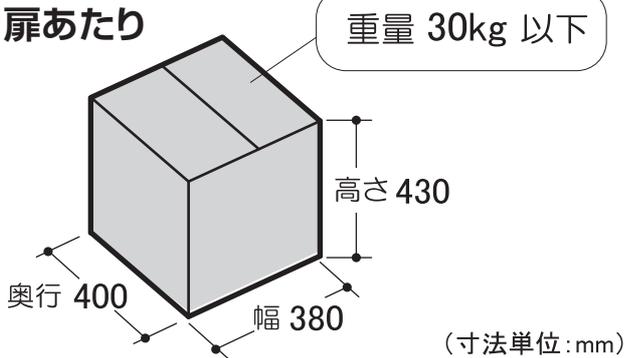
- ①仕切板、床パネルをはずします。
- ②ヒンジを止めているトラスタッピンネジをはずします。
- ③プラスドライバー等で扉ヒンジホルダーWを押し、下のヒンジを引き抜きます。
- ④上のヒンジも扉ヒンジホルダーWを押し引き抜きます。



◆収納物について

収納できる荷物の最大寸法は下記のとおりです。

1扉あたり



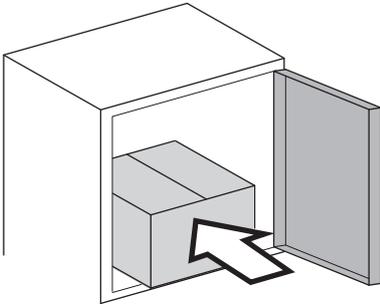
◆物を載せる時は、強い衝撃を加えないでください。

◆生き物、生鮮食料品、危険物、貴重品、その他収納に適さないと思われるものは入れないでください。

◆錠の使用法◆

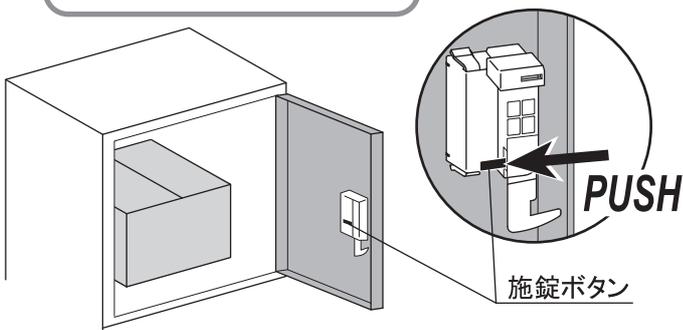
荷物の預入

①扉を開けて荷物を入れます。

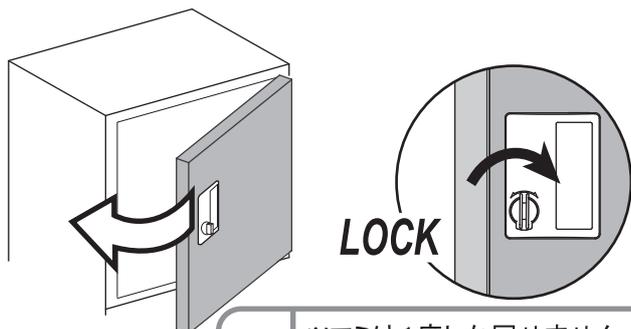


②錠の庫内側にある施錠ボタンを押します。

施錠ボタンを押すと
施錠ができる状態になります。



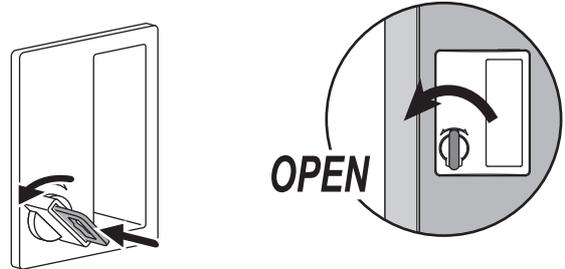
③扉を閉めてツマミを右に回し、施錠します。



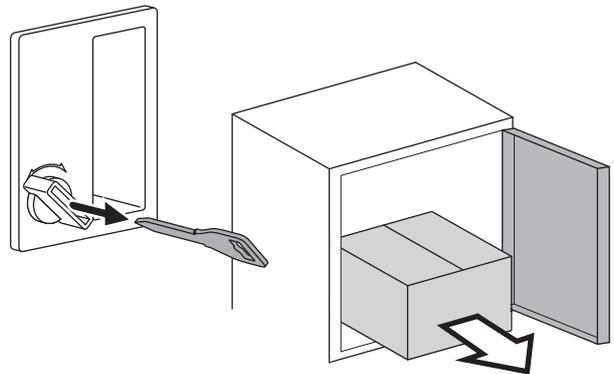
ツマミは1度しか回せません。
1度ツマミを回すと施錠され、
キーがないと開錠できません。

荷物の受取

①右向きのツマミにキーを差し込み、
左に回すと開錠されます。



②キーを抜き、扉を開けて荷物を取り出します。



◆ボックスを使用して荷物を預け入れる方と、
受け取られる方で、あらかじめ使用方法の
打合せを行ってください。

◆イタズラによる破壊を防止する機能や
受取物を認識する機能はありません。

◆いかなる場合も配達物に関する保証は致し
かねますのでご了承ください。

取扱説明書

安全のために

はじめに

ここに記載してある事柄は、人や物に対して危害・損害を未然に防止し、製品をより安全かつ正しくお使い頂く為のものです。

誤った取扱いをすると、本製品に故障が発生したり、性能が発揮できない場合がありますのでご注意ください。

⚠ 注意

安全の為に必ずお守りください。死亡・ケガの原因になります。

転倒防止に注意！

組立説明書に記載の「転倒防止工事(ワイヤー工事・アンカー工事)」が行なわれているかご確認ください。

⇒転倒防止工事がされていない場合、強風等により転倒し、ケガや死亡事故につながります。また、収納物に被害を与えます。

屋根に乗ったり載せない！

屋根に乗ったり、物を載せたり、ぶら下がったりしないでください。

⇒転落により、ケガをする場合があります。また、物を載せると落ちてくる事があり、ケガや破損の原因になります。

改造は専門家に！

改造などをご希望の場合は、専門家にご相談ください。⇒みだりに改造すると、ケガや破損の原因になります。

雪下ろしは早めに！

雪下ろしは早めにしてください。その際、物置の周りの雪も取り除いてください。

⇒限界を越えると物置の変形・破損により、ケガや収納物の破損につながります。

積雪許容荷重 3,100N/m²(310kgf/m²) → 雪下ろし目安 100cm

設置上の注意！

崖の縁や屋上など、安全の確認出来ない場所への設置は避けてください。⇒強風により転倒、落下の危険があります。

強風時には必ず施錠！

台風や強風時は、扉が外れたり開くことがありますので必ず施錠してください。

⇒扉などの飛散により、ケガなどの事故原因や収納物に被害を与えます。

お願い

これらの点にもご注意ください。ケガ・損害の原因になります。

棚・床への衝撃・載せ過ぎ・詰め込み過ぎに注意！

棚・床には許容荷重以上、物を載せないでください。

⇒許容荷重以上の品物や強い衝撃を加えると、破壊・変形し棚板から物が落下する等してケガなどの原因となります。

扉の開閉に支障をきたすような収納物の詰め込みは行わないでください。

⇒荷崩れにより扉を圧迫し、脱輪・扉落下によるケガや破損の原因になります。

雪の落下に注意！

建物からの雪が直接物置の屋根に落ちて来る場所への設置は避けてください。

⇒物置の変形・破損により、雨もりの原因になったり収納物に被害を与えます。

雨もりの原因！

建物の屋根からまとまった雨水が直接物置の屋根や壁に落ちないように配慮してください。⇒雨もりの原因になります。

扉の開閉に注意！

扉の開閉は取手に手を掛け、手や足を挟まないように注意してください。⇒ケガの原因になります。

物置以外の使用禁止！

物置は本来、物の収納用として使用するもので、他の目的(子供の遊び場、住宅の一部など)のために使用しないでください。

⇒ケガなどの事故につながる場合があります。

立てかけ禁止！

物置の外壁などには、物を立てかけないでください。⇒強風などにより倒れて危険です。また、腐食の原因となります。

収納物への配慮！

夏の高湿・多湿、冬の結露が原因で変質・変色、カビの発生の恐れのあるもの(なま物、衣服・人形、貴重品・精密機械等)は収納しないでください。また、飲食品・穀物など、昆虫や小動物に荒らされる原因となる恐れがあるものは収納しないでください。

組立確認！

お客様が組み立てられた際には、ボルト・金具類の付け忘れやゆるみがないかご確認ください。

⇒製品本来の強度が確保出来なくなります。

設置上の注意！

給湯器の前には、物置を設置しないでください。⇒塗装が排気ガスに侵され腐食の原因になります。

■保証内容

錠前を除く物置本体については、お買い上げ日より5年間無料で修理いたします。但し、お買い上げ日より2年を超えて発生した下記の場合の修理は有料となります。

- ① 塗装の剥離、錆
- ② 電装部品の不具合

* 上記の保証期間は正常な組立、かつ取扱説明書に従った正常な使用状態において、製造上の責任による使用上支障をきたす欠陥があった場合のみ有効です。
* 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■免責事項

- ① 天災その他不可抗力(火災・地震・噴火・水害・雪害・落雷・暴風雨・地盤沈下等)による損傷や不具合
- ② 犯罪などの不当な行為、暴動や破壊行為に起因する損傷や不具合
- ③ お客様自身の使用上の誤りや維持管理を行わなかった事に起因する損傷や不具合
- ④ 専門業者以外による修理、改造、移設等に起因する損傷や不具合
- ⑤ 屋上等、風が強くあたる場所に設置して発生した場合の損傷や不具合
- ⑥ 強度基準を超えた条件下での使用による損傷や不具合
- ⑦ 組立説明書に記載している転倒防止に必要な工事がなされていない場合の転倒事故に起因する損傷や不具合
- ⑧ 犬、猫、ねずみ、鳥等の小動物、昆虫、つるや根など植物に起因する損傷や不具合
- ⑨ 周辺の自然環境や使用環境に起因する結露、腐食又はその他の不具合
 - ・ 海岸付近や融雪剤等の塩害による腐食
 - ・ ガス給湯器等の排気ガス、温泉地等の地域における強い腐食性ガスによる腐食
 - ・ 大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニアなどに起因する腐食
- ⑩ 隣接する建物や外構の塗装やめっきの摩耗、傷、剥離、又はこれらに伴う錆等の不具合
- ⑪ 使用に伴う接触部分の塗装やめっきの摩耗、傷、剥離、又はこれらに伴う錆等の不具合
- ⑫ 経年による塗装の劣化や樹脂の色あせによる外観上の変化
- ⑬ 軟弱地盤や寒冷地等、設置する場所の地盤に適した基礎施工を行わなかった事に起因する損傷や不具合
- ⑭ 機能上支障のない音、振動などの感覚的現象
- ⑮ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合
- ⑯ 本書の提示がない場合

* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありません。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
* 保証期間経過後の修理等について、ご不明な点は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
* 当社では有償契約のメンテナンスは行っておりません。

■錠前の保証について

錠前の保証期間は、お買い上げより1年間となります。

製品保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本保証書は、保証期間中にお客様の正常な使用状態において、使用上支障をきたす欠陥があった場合は、本書記載内容により修理させていただきますことを約束するものです。

修理はお買い上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。

尚、御面倒をおかけ致しますが、お客様で、お買い上げ年月日、お名前をご記入の上、ご購入時の領収書と一緒に大切に保管してください。

お買い上げ年月日 平成 年 月 日

保証期間 お買い上げ日より5年間
(塗装、電装部品等は2年間)
(錠前は1年間)

型式 (機種名) 製造番号

お客様	〒
	ご住所
	お名前
お電話	()

販売店・住所・電話番号

施工店・住所・電話番号